

豪中銀は金利を据え置き、政府の予算案は高評価

Insights from UBS Asset Management

ポイント

- ・ RBA が市場予想に反し利下げの先送りを決め、一方政府は新予算案に大型の財政刺激策を盛り込む
- ・ 新予算案は、新型コロナウイルスの感染流行で打撃を受けた豪経済の復興を助けるものだと高評価
- ・ 豪ドル円は、豪州のコロナ感染の収束と追加財政策の効果、中国経済の更なる前進などを背景に上昇基調が継続へ

新型コロナウイルス感染対策に成功した豪州

- ✓ 豪州では 6 日、オーストラリア準備銀行(RBA)が市場予想に反し利下げの先送りを決め、一方政府は新予算案に 1,000 億豪ドル (約 7.4 兆円) 規模の刺激策を盛り込みました。
- ✓ 予算案には、雇用創出による生活の安定や、大型所得税減税の前倒しでの世帯消費の促進、即時減価償却の対象拡大など企業活動の底上げなどが含まれています。財界やエコノミストらの間では、新型コロナウイルスの感染流行で打撃を受けた経済の復興を助けるとの評価が高まっています。
- ✓ 豪州では 7 月に経済対策を発表して以降、830 億豪ドル規模の刺激策が導入され、新型コロナウイルス感染関連支援は総額で 2,570 億豪ドルに達します。ローンや保証と共に、政府と RBA が 5 年にわたり提供する支援規模は 5,070 億豪ドル、対 GDP 比 25%となります。他国と比較して、スピーディーで大規模です。
- ✓ 大規模な財政出動により、累積債務の肥大が懸念されますが、豪州政府が示す成長率の回復や失業率の改善など楽観的な見通しにより、対応可能であるという見方が多いようです。豪州の公的債務は対 GDP 比 23%と、その他先進国平均の 83%と比較して低い水準です。

■新予算案での主要な経済対策

雇用刺激策として、給与補助金を40億豪ドル拠出(23年度まで)若者の雇用に紐づけた「ジョブメーカー」制度を新しく導入
新規見習生100,000人に対する12億豪ドルの助成金

減税措置を2020年7月に前倒し、低所得者向け税控除を拡大
売上高50億豪ドル以下の企業の投資に対する大幅な税優遇
年金受益者やその他生活保護者に対する追加の現金支給

インフラ支出に30億豪ドルを上乗せ

製造業支援として当初130億豪ドルの投資
研究開発(R&D)税優遇措置の再導入

医療や高齢者ケア分野における支出拡大
観光業界・地方産業支援に2億5,000万豪ドル
マイホーム初回購入者向けローン頭金制度の拡大

出所：オーストラリア財務省

上記の一連の景気対策により、20/21年度の成長率はマイナス1.5%、21/22年度には4.75%、22/23年度には2.75%、失業率は、今年の8%をピークに下落し、23/24年度までに5.5%に回復すると、政府は見込んでいます。

RBA の利下げ先送りについて

- ✓ RBA が利下げを先送りした背景には、追加の刺激策の効果をしばらく見守りたいとの意向が伺えます。加えて、予想外に順調なペースで雇用市場の改善が進んでいることや、新型コロナウイルス感染拡大「第2波」の収束によって、利下げを急ぐ必要性が低下していると思われる。
- ✓ 今回の RBA 声明文には「理事会は高い失業率への対応が重要な国家的優先事項だと考えている」、「理事会は経済活動の再開が広がる中で追加的な金融緩和が雇用を支援できるか検討を続ける」と記述され、雇用市場を重視する RBA の政策姿勢が一段と明確になっています。
- ✓ 声明文には、失業率は以前の予想より低い水準でピークを迎える可能性が高いとの記述が追加され、RBA が目指す 4%台とみられる完全雇用の水準とは依然距離はありますが、RBA にとっては予想外に順調なペースで雇用市場の改善が進んでいると判断したとみられています。

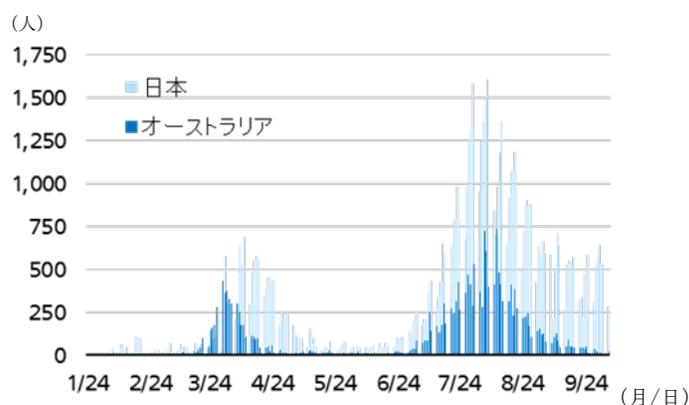
足元のオーストラリア経済、豪ドルの見直し

- ✓ 最近の経済指標では、4-6 月期 GDP 成長率が記録的な落ち込みとなった一方、失業率には緩やかな改善（8 月は前月比 0.7 ポイント改善の 6.8%）がみられ、9 月の企業景況感の前月から 6 ポイント上昇し、コロナ・ショック前の水準を回復しています。
- ✓ また、感染第 2 波の拡大が懸念された豪州国内ですが、足元では新型コロナウイルスの感染ペースは鈍化し、収束が確認（右上のチャート）されています。
- ✓ 足元の豪ドルは、欧米を中心とした新型コロナウイルスの感染拡大を背景としたリスク回避の動きや RBA による追加緩和観測（11 月利下げ予想）などから、円に対して弱含む展開が続いています。

- ✓ 一方で、利下げ観測は市場に織り込まれつつあり、豪州と経済依存度が高い中国の 9 月製造業購買担当者景気指数（PMI）には、経済の正常化への更なる前進が確認されています。
- ✓ 中国で想定以上の経済回復が続いており、世界的にも実体経済の回復が予想される中、豪州経済も積極的な財政・金融政策で回復基調が続けば、RBA が利下げした場合でも銅などの資源価格と共に豪ドルも上昇基調を維持するとみえています。

■日豪の新規感染者数推移

(2020 年 1 月 24 日～10 月 4 日)



■豪ドル円と銅先物の推移

(2019 年 2 月 6 日～2020 年 10 月 7 日)



出所：リフィニティブ

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

商号： UBS アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 412 号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できると判断された情報をもとに UBS アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2020. キーシボル及び UBS の各標章は、UBS の登録又は未登録商標です。UBS は全ての権利を留保します。